

施策評価シート

【施策の概要】

		登録者(課長)名【1】	障害福祉課長 萩原 直規		
		主管課(関係課)【2】	障害福祉課		
施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】		
笑1-3 障害者福祉の充実		安心して暮らすために	笑顔で暮らすまちづくり		
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】	
	障害者福祉を充実し、障害者が暮らしやすいまちをつくるためには、障害者を取り巻く環境の改善、サービスの充実が必要です。 (仮称)障害者福祉総合センターの建設に併せ、専門職員による相談支援体制の整備、就労支援体制の充実、さらには地域生活への移行支援を行うことで障害者の自立を促進する必要があります。		・相談支援体制の充実 ・地域生活への移行支援 ・地域生活支援事業の充実	障害のある人が、地域で自立した生活をおくることができるまちをめざします。	
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】				
◇今後、障害者基本法改正や障害者自立支援法に代わる(仮称)障害者総合福祉法の制定に向けた動きが進められる中で、今後、法改正を前提とした議論がさらに進むと考えられます。 ◇西東京市においては、身体、知的、精神に何らかの障害のある人は年々増え続けています。					
事業群	事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】		
	1	地域で自立して暮らせるしくみづくりを進めます	住み慣れた地域で自立した生活へ向けた生活支援体制の構築		
	2	障害者への一体的支援体制を整備します	障害者の福祉基盤の整備		

【施策の成果】

			年度	19	20	21	22	23	24	
成果指標【12】	指標1	名称	「地域生活支援などの障害者福祉の充実」に対する市民満足度		目標値	20%		単位	%	
		算出式・説明	障害者自立支援法の施行などにより、障害者の自立と社会参加の促進が求められています。そのためには西東京市においても障害者を地域で支援するしくみを構築していくことが重要です。市民意識調査で把握します。		実績値	13	13	13	14.1	
		達成率	65%	65%	65%	71%				
		指標2	名称	グループホーム・ケアホーム入居人数		目標値	85人		単位	人
	算出式・説明	自立をめざす障害者が、施設や病院から地域に移行し生活していくためには、少人数で共同生活を行なうグループホーム・ケアホームの運営が重要です。西東京市では、目標達成を図るため引き続き、側面支援を行います。指標については、より実状を反映するものとして支援を行った年度ごとの実人数に変更しますが、目標値は現在の数値目標を継続して使用します。		実績値	52	68	76			
	達成率	61%	80%	89%	0%					
	指標3	名称	(仮称)障害者福祉総合センターの整備		目標値	1箇所		単位	箇所	
	算出式・説明	障害者の自立と社会参加の支援を進めるため、一体的な支援を行うことが求められています。そのため、(仮称)障害者福祉総合センターを建設し、センターを中心として、障害者に幅広い支援を行うことが必要です。		実績値	0	0	0			
	達成率	0%	0%	0%	0%					
	指標4	名称			目標値			単位		
	算出式・説明			実績値						
	達成率									
達成率の平均値				42%	48%	51%	24%			

【市民意見】【13】

平成19年度		平成22年度	
満足度(%)	13%	満足度(%)	14.1%
満足度(平均ポイント)	-0.15	満足度(平均ポイント)	-0.14
重要度(%)	78.3%	重要度(%)	77.6%
重要度(平均ポイント)	1.22	重要度(平均ポイント)	1.23

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	■ まだ未達成 □ ほぼ達成 □ 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	□ 平均を下回る ■ ほぼ平均 □ 平均を上回る	
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	□ 弱くなっている □ 以前と同程度 ■ 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】	□ 平均を下回る □ ほぼ平均 ■ 平均を上回る	
検証項目	今後の方針	施策内容の方向性【20】	□ 拡充 ■ 現状維持 □ 絞込み	
		施策実施コストの方向性【21】	□ 重点化 ■ 現状維持 □ 効率化	
		施策実施方針【22】	Ⅱ コストは現状を維持しながら、成果を向上すべき施策領域	
検証項目	説明【23】	なし		
総合評価	判断理由等【24】	障害者福祉の充実については、グループホーム・ケアホームに対する財政的な支援や地域生活支援事業の推進を図ってきたことに加え、現在、相談支援・就労支援・地域活動支援・生活訓練・生活介護・地域交流等の総合的な拠点となる(仮称)障害者福祉総合センターを平成23年度中のオープンに向けて建設中です。市民意識調査における満足度は中位レベルにあり、重要度認識は相対的に高い水準にあります。平成23年度中の(仮称)障害者福祉総合センターの開所により、こうしたニーズにも対応できるものと考えられることから、現状の計画ベースを維持することと判断しました。		
	施策実施方針【22】	V	コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域	

【一次評価後の事情変更等】

説明【23】	なし
--------	----

【行革本部評価】

総合評価	施策内容の方向性【20】	□ 拡充 ■ 現状維持 □ 絞込み
	施策実施コストの方向性【21】	□ 重点化 ■ 現状維持 □ 効率化
判断理由等【24】	障害者福祉の充実については、グループホーム・ケアホームに対する財政的な支援や地域生活支援事業の推進を図ってきたことに加え、現在、相談支援・就労支援・地域活動支援・生活訓練・生活介護・地域交流等の総合的な拠点となる(仮称)障害者福祉総合センターを平成23年度中のオープンに向けて建設中です。市民意識調査における満足度は中位レベルにあり、重要度認識は相対的に高い水準にあります。平成23年度中の(仮称)障害者福祉総合センターの開所により、こうしたニーズにも対応できるものと考えられることから、現状の計画ベースを維持することと判断しました。	
施策実施方針【22】	V	コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域

【施策内の事務事業貢献度判定】

笑1-3 障害者福祉の充実

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
	障害者生活支援のネットワークの形成	障害福祉課	(笑2-3 障害者就労支援援助事業の充実で実施) 支援対象者及びその家族などの求めと必要に応じて職業相談・求職活動・離職後の相談など就労面の支援を行っています。
2	(仮称) 障害者福祉総合センター等建設事業	障害福祉課	障害者の自立と社会参加を促進するための地域生活支援の拠点として(仮称) 障害者福祉総合センターを現在建設しています。
事業の合計			

総コスト(千円) : 評価年度【28】	事務事業の 評価(直近)【29】		26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】	
	事業費	人件費				
0	0	0	-	-	支援を必要とする障害者が少人数で居住する形態であるグループホーム・ケアホームは障害者の地域生活支援の社会資源として重要です。	A
0	0	0	-	-	生活支援の一環として、就労支援も行うことで障害者福祉の充実を図ることができます。	A
1,075,113	1,067,033	8,080	- (平成18年度)	-	(仮称) 障害者福祉総合センターを建設して、地域で生活する障害者の自立と社会参加を促進するための地域生活支援の拠点となるものです。	A
1,075,113	1,067,033	8,080				